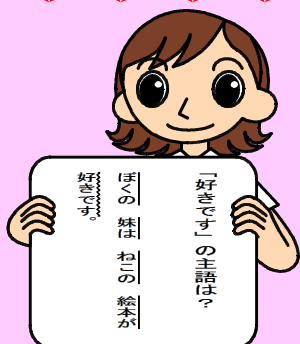


平成27年度
みやざき小中学校学習状況調査
小学校 分析結果【概要版】



<国語>

平均正答率は64.3%である。「伝統的な言語文化と国語の特質」の「ことわざの意味」の問題は、平均正答率が96.4%と高い。一方、「主語をとらえる」問題は、平均正答率が低い。

詳細版には、A問題の中で平均正答率が低かった問題と、過去の類似問題より平均正答率が上がった問題を取り上げている。

<社会>

平均正答率は60.9%である。「ごみを減らす取組」などの「人々の生活」の資料活用問題は平均正答率が78.2%と高く、地図記号の問題も高い。一方、「世界の中の国土」については平均正答率が低い傾向にある。

詳細版には、A問題の中で平均正答率が最も低かった問題とA層-D層の差が大きかった問題を取り上げている。



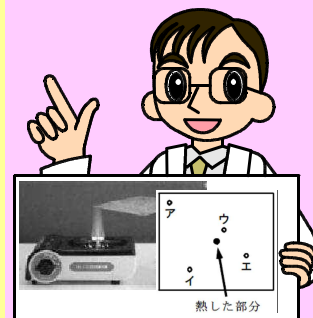
<算数>

平均正答率は62.3%である。「数と計算」の「3位数×1位数の計算」の問題は、平均正答率が90.1%と高い。また、「数量関係」の問題も平均正答率が高い傾向にある。「分数の大小関係」「およその面積」の問題は、平均正答率が低い傾向にある。

詳細版には、平均正答率が最も低かった問題と過去の類似問題より平均正答率が上がった問題を取り上げている。

<理科>

平均正答率は67.2%である。「生命・地球（地球）」の「月と星」の問題は、平均正答率が81.2%と高い。また、「生命・地球（生命）」の問題も、平均正答率が高い傾向にある。「金属の温まり方」の問題は、無解答率が高く、平均正答率が低い。詳細版には、A層-D層の差が大きかった問題と平均正答率が最も低かった問題を取り上げている。



授業改善のkeyword「分かる！・できる！」まで教えよう！！